

# イエス団報

イエス団・本所賀川記念館・雲柱社合同

## 中堅職員研修会報告特集

○三年十一月十日から十二日の三日間。社会福祉法人雲柱社との合同中堅職員研修会が東京府中市で行われ、イエス団からも二十三名の職員が参加しました。

第一日は芳賀慶治先生（黎明保育園）の開会礼拝に始まり、服部栄先生（雲柱社理事長）の主題講演「基礎構造改革に挑戦する」がありました。社会福祉史をその考え方の起源から始まり、現在の流れまでを講義していただきました。特に賀川豊彦がその生涯を通して示したキリスト教精神に基づく人間連帯と協同運動、地域と共に神の創造物としての人間の尊厳とその可能性への信頼に基づく自立への取り組みは、社会福祉制度が大きく変わりつつある今を生きる私にとって、「私たちが地域で何をしようとしているのか」基本に立ち帰る必要を迫られました。夕食をはさんでのワークシヨップは四つのグループに分かれての討議。「賀川豊彦の生涯と思想」（河島幸夫著）を読んでそれぞれ感想や考えを出し合いました。

経験年数、職種、かかえている地域など様々ではありますが、今まで業績や写真で知っている程度の賀川豊彦をくつと身近に一人の人として見る機会を与えられたように思います。9時すぎまでの討議を終え、消灯時間が決められた6人部屋の宿舎は、高校生のサマーキャンプ以来！貴重な経験をさせていただきました。

二日は皆夫夫礼拝からワークシヨップへ。K、J法でグループの意見を統一を探りました。自分の考えや職場の考えをまとめる一つの方法として有効な手段と感じた参加者も多かったのではないのでしょうか。午後からはそれをもとにした全体会。服部栄先生のもとにこの研修会に参加している一人ひとりに与えられている使命を文章化する作業をしました。賀川豊彦を現代の視点から検証しながら、その精神と個人々々に与えられている使命（ミッション）を確認する事ができました。



◇発行所 者雄集信所  
◇今編集 井田信行  
◇黒田 市中央区  
◆発行人 藤野通  
5-5-20  
社会福祉法人  
学校法人  
イエス団

TEL:078  
221-9565  
FAX:078  
221-9566

社理事長）のお話を聞きました。同時に資料館の豊富な資料がデータベース化している実態も垣間見せていただきました。実物の資料は、はるかに豊かに何かを語ってくれました。

共に創設者が賀川豊彦である両法人。法人としての方向性に多少の違いが感じられましたが、共同で学びの時を持つことの意義を再確認いたしました。

イエス団施設からの参加者の感想をまとめました。法人につながる一人ひとりが研修を共有していただければ幸いです。

（文責・黒田信雄）

### 参加者の感想

田岡三千代

今まで賀川豊彦氏の良い働きばかり学んできたが、孤独と悲しみの幼児体験が『名声と承認』への追求に向かわせたのではないかと、この批判のあることを知った。

しかし、講演・ワークシヨップで様々な視点より考え、意見交換をしていくなかで神様に生かされた存在として『平和主義者』として先駆的活動に注いできた姿勢であったことには変わりないと感じた。さて、利己主義的な人間関係が蔓延する現代社会において私たちが何ができるだろうか？賀川精神を受け継ぐ法人施設に働くひとりとして自らの為にも聖書に学び、子ども達が神様の愛を知り、人を愛し、平和を願う者となり、自らが育つ力を信じ健全な成長のためにこれからも専門職としての責任感を持って取り組む姿勢を忘れてはならないと思う。

研修にあたり、準備に配慮下さった先生方と、同じ志を持つなかまとの出会いに感謝致します。

（坂出育愛館）

角石みどり

中堅職員という名の通り、施設で根をはっている人たちの姿を見せて頂きました。皆、輝いて見えただから！（福祉の仕事は、他者の為に働くことを選んだ者がするのである）という指摘に、甘えの部分を自分を感じました。（初心に戻る）機会を与えられたように思います。ミッションのひとつ、（私達ひとりひとりもまた、いと小さき者・弱者である）ということとを認識し、お互いを認め、行動する信念を持つことの大切さを感じると同時に、これが（隣人を愛する）ということにつながるのかな、という発見でした。後ろを振り返ると、何も形の無い自分が見えます。能力の無い者ほど、努力する！を目標に常に支え合っている（人）という字を頭において、アマの心を忘れずに心を与えられる人になれるよう、これからの人生をも含めて、考えてみようと思っていました。

（豊島ナオミ荘）



## 参加者の感想 (続々)

西本 理恵

今回の研修に参加するにあたり賀川先生について本を読んだが、全てを理解するのは難しく自分が思っていた人物は雲のうへのひとといった感じで良い面ばかりを見ていた、知っていた気がします。研修に参加してグループに分かれての話し合いでは自分では思いつかなかった疑問があったりと色々な事を感じ学ぶ事ができました。最後に、賀川先生について思ったことは強い人でも弱い人でもなく人間味のある失敗しても前向きに次の事を考えて行動する人だなと感じました。そして受けつきたい事はたくさんありました。その中でも両親が仕事に行っている間子どもを預っている私は両親がその時間をそそいであげれない保育園で十分な愛情を持って保育しようと思えました。

(聖潔保育園)



濱野 宏美

今回の研修はテキストを熟読の上参加ということで事前に読んでみたものの難しく不安を抱えて参加した。

前に進むには後「歴史」を振り返りながらという言葉から始まり集まった人々と賀川先生についてワークシヨップをしていくうちに私達のミツシヨンが見えてきた。いろんな意見交流もできて楽しかった。賀川先生の牧師・社会運動・平和運動への働きを学んだ後に、純基先生から賀川先生の事業に対しての説明や結果や報告、日記、また、スラムに入っている一人ひとりに必要なものの調査についてなど難しいと感じていた部分がわかりやすく、より深く学べた。

賀川先生が示された方向性、理念を自分の職場でどう生かし、保育に繋げていくかが課題となった。参加型の研修は大変だが、自分のものになると感じた。いろいろご準備下さった先生方に感謝致します。

(坂出育愛館)

田岡 美香

今回の研修に参加させて頂いた事で賀川先生の考え、してこられた事などをより深く知る事ができたように思います。ワークシヨップで、他に参加されていた方達と意見交換し合った事は賀川先生の考えをあらゆる方向から見ることができました。私なりに解釈していた事も実は賀川先生は、こういう考えをもっていたのかな?という部分がたくさんありました。

また、賀川先生の行動力には驚くばかりです。じっとしていても何も始まらない; そう思っているものの、なかなか動けずにいる事が多かった私ですが、見習いたい所です。そして、いと小さき者に対して思いやりの気持ちを持つてかかわってこられた事を私も受け継いでいきたいと思えます。

(光の子保育園)

森 拓平

「中堅」職員合同研修会と聞いて戸惑った。「僕は中堅職員だろうか?」蓋を開ければ、年齢も立場も様々で身体障がい者に関わる職員は僕一人であった。その中で賀川豊彦について学び、感じた事と言えば「賀川の人間らしさ」である。「死の恐怖」「天皇崇拜」

竹下 由紀

「自己顕示欲」周りを観れば、何処にでもいる人物である。しかし彼はそこに留まるのではなく、日々前に進み、周りを良い方向に導こうとする努力を惜しまなかった人であると感じた。今回の私達の繋がりがりも彼が居なければ為し得なかった事の一つである。服部栄先生始め雲柱社の方々との出会いも、とても貴重なものであった。時間が日々急速に流れていく中、私達の職場のルーツを知る事で、もう一度初心に立ち返り、職場に戻れたことに感謝したい。

(愛隣デイサービスセンター)

今回の研修で、賀川先生が手掛けられた多くの仕事の内の一端を、わたしも担っているのだということとを改めて感じました。賀川先生が、時代の先駆者であったように、わたしも微力ながら「今の子どもたちに何が必要か」を常に考え、見極めていきたいと思えます。

そのためには、やはり何をおいても、保育園で私たちが行っている保育を、子どもたちにとってより良いものにしていかなければならないと考えました。今回の研修では3日間「賀川豊彦」一色でしたが、その中でも各施設での具体的な出来事、問題や悩みなどを聞くことによって、知ったこと、考えさせられたことも、たくさんありました。これからの保育に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

(のぞみ保育園)



参加者の感想 (続き)

升崎 丈夫

予めテキストとして「賀川豊彦の生涯と思想」(河島幸夫著)を熟読するという事でした。賀川先生については基礎的な知識は持ち合わせていましたが、恥ずかしながら文献を熟読したのは初めて近くに、時間の流れに合わせ実年齢で先生の行った事業を追従する事が出来ました。自分に同じ事が出来るのか自問自答してみると同じ事は出来る苦も無く、改めて偉大さを感じると同時に、人間臭さを感じる事が出来ました。研修会で同じ仲間が集まり、私達のミッションとは何か?一人ひとりが考えを出し合い、それを自分の中でじっくりと考える時間が持てたのはとても意味深い事でした。また、賀川純基先生の講演会で、「賀川は私をどう育てたか」というお話も伺え、さらに身近に感じられました。賀川先生に繋がる施設で働く者として、微力ながらも賀川精神を引き継いで行かなければと思いました。

(愛之園保育園)



森川 和美

賀川先生のことについては私自身、身近に接することが多いにも関わらず、実践されたこと等あまり詳しくは知りませんでした。今回のテキスト「賀川豊彦の生涯と思想」を研修前に読み、私にも理解出来るだろうかと少し不安でしたが、研修に参加し、改めて賀川先生の偉大さを知り、たくさん学ばせていただきました。賀川先生が生きられた時代の中で、実践された事柄や、賀川先生の思いが今、現在の世界にも通じるものがあり、賀川先生の先見性に驚くとともに、戦争について等は私達人間が何も変わっていないという愚かさを感じました。

今、私達が何をすべきなのか、私自身、何が出来るのか等、この研修で学び、感じたことを今一度よく考え、出来ることから実践していければと思います。そして、日々、神様に感謝し、世界の平和を願い、「すべてをみ手に安心を」という、テキスト最後の賀川先生自身の言葉を忘れずにいたいと思います。

(二麦保育園)



小路 邦博

今回、イエス団・本所賀川記念館・雲柱社との合同研修で賀川先生という人物の偉大さや考えの深さを改めて学ぶことができたことに、賀川先生も私たちと同じ人間であり、先生の中でも迷いや不安があったということも知ることができた。私は、特に宗教を信仰していなかったため、当施設以外では賀川先生について深く考えたことはなかった。しかし、今回初めて賀川先生の功績や、足跡をより深くたどるうちに、これだけ人をひきつけ続ける賀川豊彦がもつ魅力というものを少し理解できた。

そこには、自分を犠牲にしてまで他者を愛し、手を差し伸べそれを貰ったその生き方にこそ全てがあると感じた。私自身、まだまだ意志が弱く自己犠牲の精神が薄い人間である。今回の研修での学びを活かし、これからも賀川先生の考えを受け継いでいくことができるよう日々努力を重ねていきたい。

(真愛ホーム)

和田 勉

この研修に参加するまで賀川豊彦の事を殆ど知らなくて、色々と知ることが出来よかったです。先見性があり、また、人を引き付ける魅力のある人だったので、もし今、生きていたらどんな活動をされるのかな?なんて思ったりしました。また、自分自身振り返り、いろんな事で不平不満に思うことはあるが、それを打開して前に進むとうとするという姿がかけている事に気づき、少しは見習って前向きに色んな事に取り組む姿勢また、見通しをもって行動したいと思いました。

全国研修という事で、いろんな方々がこられ、お話しする事で、自分の小ささを知ったり、また、色々情報をえたり、友達になれたりして楽しかったです。もっと色々な人とお話ししたかったです。

(天使保育園)



吉田加奈子

今回の研修に参加するまで賀川先生の話は時々耳にする程度で、

事前に渡されていた本を読んでも本当のところ、あまりよくわからない。難しい、という感想でした。でも、実際研修の中で色々な先生方のお話を聞いていくうちに、少しずつ賀川先生のことわかってきたように思います。戦争中、天皇制を肯定されたということもありましたが、今の社会にも受け継がれてきている数多くの事業があり、それを何十年前にも考え、行動されてきたことは本当に偉大なことだと思いました。私は賀川先生のような偉大なことはできませんが、何かのあたちで賀川先生の「想い」を子どもたちに伝えていければいいなと思います。今回研修に参加し、賀川先生を知るいい機会だったと改めて感じました。また、リラクゼーションの間では声を出し、笑い、先生方と関わり楽しい時間がもてました。日々の保育の中でも、子どもたちと楽しく笑えるように心掛けていきたいと思っています。

3日間を通して、グループでの意見交換やリラクゼーションの時間に色々な先生方とお話する機会がありました。もう少し交流を深める時間があればよかったです。

(杉の子保育園)



参加者の感想(続き)

森 祐子

今回の研修に参加させて頂き、賀川豊彦さんについていろいろなことを学ぶことができたと思います。弱い立場の人々への愛の精神や競争に反対し平和を願う気持ち、意志の強さ、行動力のすごさなど今回の研修で学ぶことができたと思います。

又、研修でおこなったワークショップでは、グループ内で意見を交わす中で、様々な意見をきくことができ、自分とは違う考え方や感じ方を知り、学ぶことができたと思います。今回の研修で、意志の強さや行動力のすごさを学び、今後少しずつでも実践に生かしていくことができると感じました。又、ワークショップを通して、いろいろな意見をきくことができ勉強になりました。

(聖浄保育園)

辻本 慶子

今回の研修では、普段お会いすることのない方々にお会いすることができたこと自体が、私にとっての財産となったように思う。

賀川先生の活動の中の広さと同じ時に貧困や争いごとの原因について、根本的にとらえて解決していることとする洞察力と実行力に学ぶことが多く、さらにそれを人と人のつながりをつくる中で、権力者達に頼るのではなく、必要なものは自ら創り出していくという姿勢。そして、その方法論を、調査や研究に基づいて確かなものとして編み出していく堅実さとバイタリティーの源は何なのか?ということが話題にのぼったが、私も知りたいところである。最下層の人々とも、上流階級の人々とも等しく付き合うことのできる誇り高い人格と同時に、生きることへの、覚悟のよさうなものを感ぜられました。賀川記念館での純基先生の、私達に伝えようとお心をいただいた、豊かな気持ちになって帰路につくことができた。

(天使の園保育園)



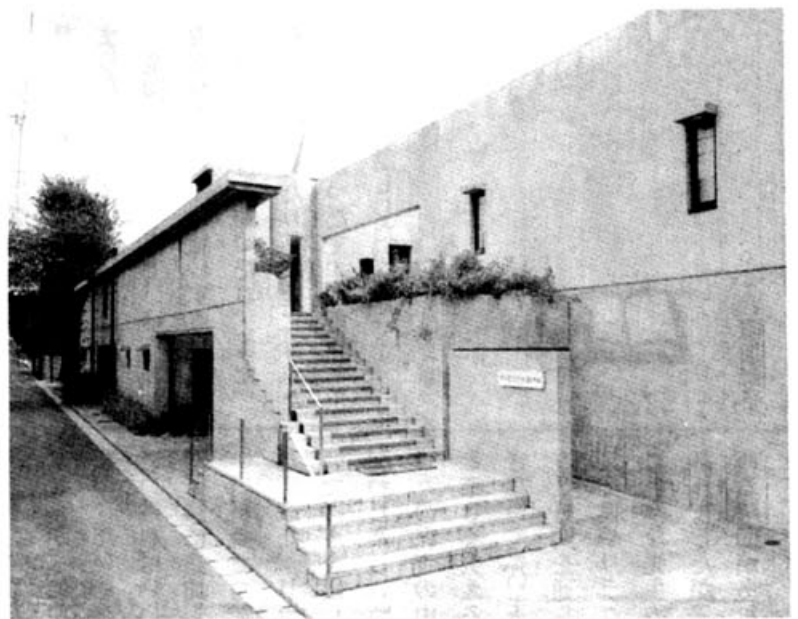
馬場 一郎

イエス団で働く私たちが、賀川先生の遺志を受け継ぎ、この時代にその精神を発揮することは、私たちにとっての命である。賀川先生に直接指導を受けたことのない世代にとつては、先輩方からのお話に耳を傾け、学んでいくことが必要であろう。そういう意味でも、賀川先生の歴史を学ぶだけではなく、その人となりや精神の根本に触れることは非常に大切なことである。

今回の研修では、単に歴史だけではなく、学びを通して賀川先生の人格に触れることができたように思う。賀川純基先生に直接お話を伺い、貧民窟に入られた初期の活動をお聞きし、気持ちに接することができたように思う。そして賀川先生の下で働くものとしての自覚も生まれたのではないだろうか。お世話になりました。次回は神戸でお会いしましょう。

(本部事務局)

賀川豊彦記念・松沢資料館



【住所】 東京都世田谷区上北沢3-8-19 〒156-0057 電話 03-3302-2855  
【交通アクセス】 京王線：(京王新宿発「高尾行」) 下北沢駅下車。徒歩5分。

現在、賀川豊彦の名前がついた記念館は、イエス団本部のある神戸と徳島県鳴門市、そして東京松沢の三箇所があります。そのうち東京都世田谷区松沢は、賀川豊彦の自宅があった場所です。現在でも松沢教会・幼稚園があります。一九七八年、全国に散在する賀川豊彦に関する資料を収集保存すること、また研究することを目的として開館しました。日記やノートといった生の賀川を感じることもできる資料が常時展示されています。ぜひ一度、行ってみたいかがでしょうか。

【編集後記】

※イエス団報第6号をお届けします。はじめての研修会云報見号です。普段は遠く離れた地で奉仕の業に励んでいます。同じ法人、同じ精神の元に働く施設職員同士がお互いを意識し合うということ、連帯意識を持つことは、とても大切なことではないでしょうか。※次年度からは、中堅職員を対象としたフォローアップ研修も計画されています。また本部のホームページも開設に向けて準備中です。歩みは遅いですが、着実に前に向かって進んでいます。